

WHO ファクトシート

緊急時のメンタルヘルス

Mental health in emergencies

2017年3月

重要な事実

- ・人々は、緊急事態発生中やその後も長期にわたって、精神衛生上の様々な問題に苦しむ。
- ・人々は、安全で連帯感があって穏やかで希望があると感じること、社会的身体的精神的サポートにアクセスできること、そして自助の途を見いだせることなどで回復する可能性が高くなる。
- ・関係機関は、介入ピラミッド(ベースとなる基本的なサービスや行動、頂点での高度に専門化されたものからなる)を承認しており、各国が対応戦略を地域社会のニーズと適切な専門知識にマッチングさせることを支援している。
- ・WHO は、人道的緊急事態の間には全ての一般医療施設において、少なくとも1人のスーパーバイズされた保健スタッフメンバーがメンタルヘルス問題を見極め対応することを推奨する。
- ・緊急事態は、その悲惨な性質とメンタルヘルスへの有害な影響にもかかわらず、必要とする全ての人々に対するよりよいメンタルヘルスシステムを構築するための機会でもある。
- ・もし、全ての危機の際に、メンタルヘルスへの短期的関心を長期的な改善への運動に転換することに努力が払われれば、メンタルヘルス改革の世界的な進捗はより早期に実現するであろう。
- ・緊急事態から回復しつつある個人、社会及び国家における全体的な幸福度、機能性及び回復力にとって、メンタルヘルスは不可欠なものである。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Mental health in emergencies ファクトシート原文は [こちら](#)